

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい【ヘブル 12:2】

第二主日礼拝 【第一部】 午前 9:00-10:00
【第二部】 午前 11:00-12:00
(第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 イザヤ書 40 章 26 節 (旧約 1232)

賛 美 聖なる聖なる聖なるかな (教会福音 1)

交 読 詩篇 87 篇 1-7 節 (旧約 1025)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書 13 章 47-52 節 (新約 27)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『弟子となった学者』 松井元始牧師

応答のとき

賛 美 主が備えられた (教会福音 411)

頌 栄 父・子・聖霊の (教会福音 271)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉

【第1部】松井師

【第2部】松井師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

『弟子となった学者』 (マタイの福音書 13 章 47-52 節) 2022.9.11.
<はじめに> 13 章には 8 つのたとえがあります。1)種蒔く人(3-9・説明 18-23)、2)麦と毒麦(24-30・説明 36-43)、3)からし種(31-32)、4)パン種(33)、5)畑に隠された宝(44)、6)真珠を探す商人(45-46)、7)魚網(47-50)、8)一家の主人(51-52)です。今日はその最後の二つを取り上げます。

I 魚網のたとえ(47-50)

① 漁の姿(48)

網を海に投げ入れて、頃合いを見計らって網を引き上げる漁は、当時よく見られたものです(マタイ 4:18、ルカ 5:4、ヨハネ 21:6)。岸に網を引き上げると、獲物とそうでないものにより分けます。網を打って集める場面と、網を引き上げてより分ける場面があります。

② 今は恵みの時、救いの日(II コリント 6:2-3)

天の御国にも二局面があります。今は天の御国は広く開かれています。神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます(I テモテ 2:4、ヨハネ 3:16)。しかし、いつまでも開かれてはいません。終わりの時が近づいています。

③ この世の終わりに(49-50)

この世の終わりは誰もまだ見ぬ局面ですから、イエスは解説も添えられます(40-43)。その時、神の御前にすべての者が引き出されて、御使いたちが来て正しい者たちの中から悪い者がより分けられます。私たちはどのようにして「その時」に備えればよいのでしょうか。

II 一家の主人のたとえ(51-52)

① みなわかりましたか(51)

イエスのこの問い掛けに彼らは「はい」と答えています。「彼ら」とは誰でしょうか。】は 51 節にあります。その始まり”【”はどこでしょうか。「これらのこと」とは具体的に何ですか。あなたも彼らと同じように答えられますか。何がわかりましたか。

② 一家の主人(52)

倉には古い物から新しい物まで収められていますが、主人ならば、そこにあるものすべてを掌握して、自在に取り出すことができます。天の御国の弟子となった学者もそれと似ているとイエスは言われます。何がどう似ていると思えますか。

③ 弟子となった学者(マタイ 16:17)

「弟子」とは教えられた者で、その結果知識と理解を持つ「学者」となります。天の御国の奥義(11)、隠されていること(35)をイエスから教わりました。イエスの教えは「新しい教え」と人々に映りました(マルコ 1:27)が、古から神が語られていた真意の開示でもあります。

III 天の御国の理解

① 現在進行形

イエスが語られる天の御国は死後の世界・来世でも、限定的な神の支配領域でもありません。私たちが生活する現実世界はすべて天の御国、神の支配と権威が及ぶところです。この事実私たちに目が開かれているのでしょうか。その御国は完成へと進んでいきます。

② 成長が期待されている

天の御国はダイナミックに今の時代と私たちに働き掛けています。それにどう応答するかに関心を抱いておられます。また、それを妨げようとする者も働いています。しかし、天の御国を慕い求める者を神は助けて、それらの中でも着実に成長して行きます。

③ やがて完成される

天の御国は現在の状況がずっと続くものではありません。たとえにはたびたび収穫が描かれ、終わりの時を示唆します。その厳粛な時が刻一刻と近づいています。それに向けて、私たちは整えられ、備えるようにと語られます。

<おわりに> 「聞く耳のある者は聞きなさい」と語られます。天の御国のベールは取り除けられています。私たちは天の御国のことを教わるのが許され、その知識を持つ学者となれる機会と可能性を与えられています。天の御国を身近に感じて生きる者となれますように。(H.M.)

インマヌエル王子キリスト教会 牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893

